



村田 信之

村田議員の動画はこちら



不登校対策のゴールは

進路を主体的に捉え、自立すること

議員 市内の不登校の児童生徒について、この10年

間での数の変化は。

教育長 10年前の平成26

年度は27名、27年度33名、28年度31名、29年度30名、30年度29名、令和元年度32名、2年度26名、3年度40名、4年度39名。令和3年度以降増加している。特に小学校の不登校児童数は、令和元年度が4名だったのに対し、3年度は17名、4年度は13名と顕著な増加傾向にある。

議員 どんな対策をとっているか。

教育長 スクールカウンセラーなどの派遣、教育支援センター「若葉教室」の設置などがある。ほかには、魅力ある学校づくり、別室

対応等の児童生徒の居場所づくりやICTを活用した学習支援など多様な教育機会を確保している。

議員 対策のゴールはどこか。

教育長 学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、「児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立すること」である。そのため、登校できなくても他者と関わる機

質問項目

- ・市内の避難所、避難場所について
- ・産後ケアについて
- ・釜石オープン・フィールド・カレッジについて
- ・市内の不登校について

会や学習の機会を保障し、関係機関や地域の方々の力を借りながら対応していく。

産後ケア

議員 産後ケアのニーズは高いが、それに対して市は応えられていない。

保健福祉部長 現在月1回5組を上限に受け入れている産後ケアを、令和6年度は月2回、各回3組程度を上限に実施する予定。また、産後4ヶ月までの産婦

の方の予約を優先することとし、慣れない育児や夜間の授乳などで専門的なケア

不登校児童生徒：何らかの理由で登校しないうえに、年間30日以上欠席したもののうち、病気や経済的な理由によるものを除いた児童生徒。
産後ケア事業：出産後の悩みや、子育てに不安を抱えるお母さんたちが安心して子育てができるよう、日帰りで心身のケアや育児サポート等の支援を行う事業。
避難所のパーティション：災害時や緊急時に設置される仮設の仕切り壁のこと。避難者のプライバシーや安全を確保し、心理的な安定感を促進する役割も果たす。

避難所の備蓄品

議員 避難所の備蓄品にはどんなものがあるか。

総務企画部長 市内84ヶ所の津波災害緊急避難所のう

ち、東日本大震災で孤立した28ヶ所および18ヶ所の拠点避難所には防災備蓄倉庫を設置している。備品としては、食品や飲料水のほか、衣類や災害用毛布等も備蓄している。パーティションは計100セット、段ボールベッドも計180台を常備させている。



「若葉教室」問合せは 22-8834 (月～金曜日 9:00～15:00)